

【全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会後援】

「年年歳歳 2009 京都青年団体会議」

1. 日時：平成21年2月14日（土）14時～17時30分
2. 場所：グランドプリンスホテル京都／京都市左京区
3. 概要：

イベントブース、パネルディスカッション、講演会から成り、各所で青年団体会議のメンバーの工夫・活躍が見られ、活気あふれた催しであった。（講演会席数500）

パネルディスカッションに先立ち、山田京都府知事からも挨拶があった。



↓ 同会場：京都市コーナー



パネルディスカッションは、「ほんまもんの京都力 発見！」と題し、京都で環境問題をテーマに“衣・食・住”に関わる代表の方が登壇し、京都ならではの伝統と文化をはじめ、活動と思いを熱く討議し、参加者も聞き入っていた。



続く講演会は、当協議会の片山右京名誉顧問と門川大作会長（京都市長）の対談が実現しました。

対談に先立ち、片山名誉会員がこれまで関わってきた経緯、門川会長は京都で育ち、教育をはじめとするこれまでの活躍と思いが映像で紹介された後、司会者によって対談が進行した。





片山名誉会員は、一昨年3月19日の協議会設立総会で「パリ・ダカールラリー」完走を含めて講演をいただきましたが、今回は本年1月の南米への参戦も含めて各場面での感想と思いを、門川会長は京都市で実行されている“使用済天ぷら油”の回収とその精製製品である「バイオディーゼル燃料」の利活用現状を含め、会場に紹介と呼びかけをした。

特に、将来に向けては、子ども教育の必要性を問いながら、それを教える大人が理解・実践することの大切さ、また、“教え込む”ではなく、“楽しさ”や“生活に密着した”ことが根付く要因でもあることも訴えた。



丁度4年前のこの時期に「京都議定書」が発効されたこともあり、当日京都では各種記念行事が午前中から開催され、山田府知事、門川京都市長は幾多の掛け持ちながら、会場を盛り上げていただきました。

協議会も、普及推進に向けて“楽しさ”や“参加しやすさ”などの工夫も必要と感じました。これからも皆様からも、ご意見やアイデアをお寄せください。

(文責＝鈴木)